

# パーミクロンプライマー-E

日塗化学株式会社

1. 一般名 エポキシ樹脂系プライマー  
2. 規格 社内規格  
3. 特徴 1) 低粘度の為、素地面への浸透性が高く、悪素地面にも使用できる。  
2) キレート化可能性分が浸透、キレート化し錆の進行を防ぐ。

## 4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	14 kgセット (主剤:10.5 kg、硬化剤:3.5 kg) 3 kgセット (主剤:2.25 kg、硬化剤 0.75 kg)			
色相	クリアー			
密度 (23°C)	0.98±0.10			
粘度 (23°C)	300±150mPa・s			
加熱残分	48% (理論値)			
乾燥時間	温度	10°C	23°C	30°C
	半硬化	2時間	1時間	40分
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	サンディング又はブラスト処理			
混合割合 (重量比)	主剤 : 3、硬化剤 : 1			
可使時間	10°C	23°C	30°C	
	3時間	2時間	1時間	
洗浄シンナー	B0 シンナー-E			
施工法	施工方法	ハケ・ローラー		
	希釈率	B0 シンナー-E 0~10%		
	標準使用量	0.1 kg/m <sup>2</sup>		
	標準膜厚	20 μ		
	ウェット膜厚	50 μ		
施工間隔	温度	10°C	23°C	30°C
	最小	2時間	1時間	40分
	最大	2日	2日	2日

注) 標準使用量は、従来の実績値に基づき算出。

## 6. 性能

試験項目	試験方法	結果
付着性	ゴバン目試験 (2mm×2mm)	軟鋼板 25/25

## 7. 施工上の注意

- 水分、油分やゴミ・埃などの付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきること。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワースラシ等にて研磨してから施工すること。